



杉野製作所  
SUGINO

# 2026年 DOAX 取付け説明書

1-1~1-4

片開き戸 説明書

[ピンポイントヒンジ 取付け説明書]

[エイトBR5321 取付け説明書]

2-1 片引き戸 説明書

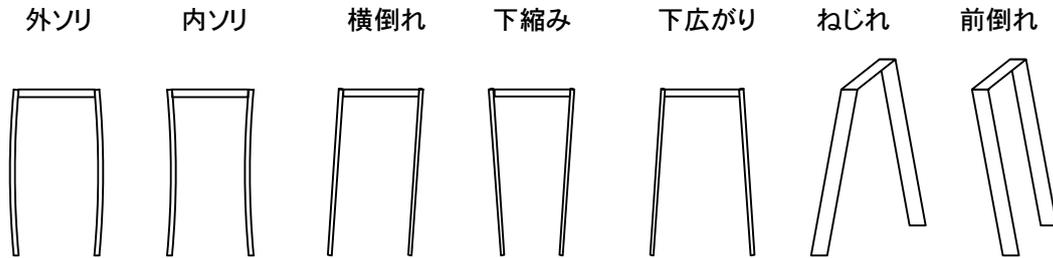
3-1 アウトセット 片引戸 説明書

4-1~4-2 引き込み戸 説明書

5-1 折れ戸 説明書

## 片開き戸枠セット 取り付け説明書

1. 枠を以下の7つに気をつけて取付けます。



2. ドアを吊り込みます。

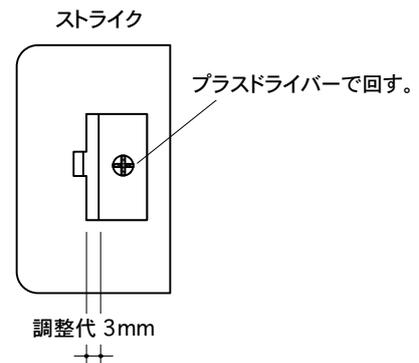
吊り込み方法は別紙「No.190BD ピンポイントヒンジ」をご覧ください。

3. 調整が必要な場合は丁番の調整機能を使い調整してください。

調整方法は別紙「No.190BD ピンポイントヒンジ」をご覧ください。

**\*必ず下の床と戸の隙を10mmに設定してください。**

4. ドアと枠のクッションの隙に調整が必要な場合は、ストライクの調整機能を使い調整してください。

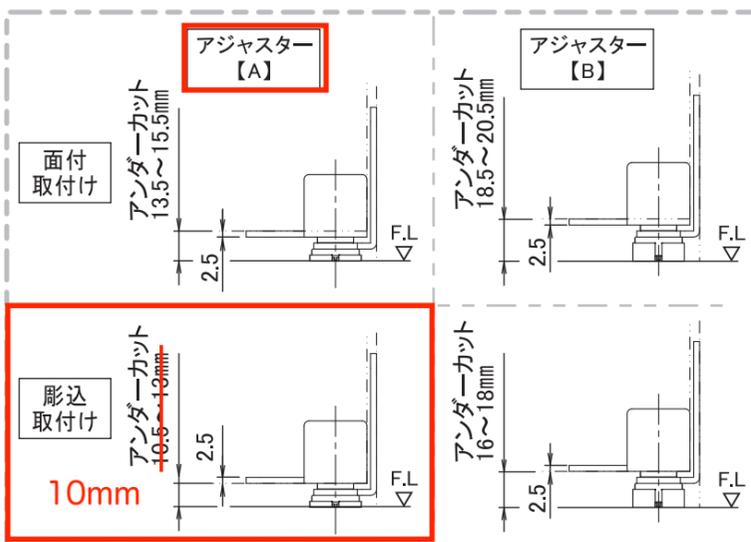
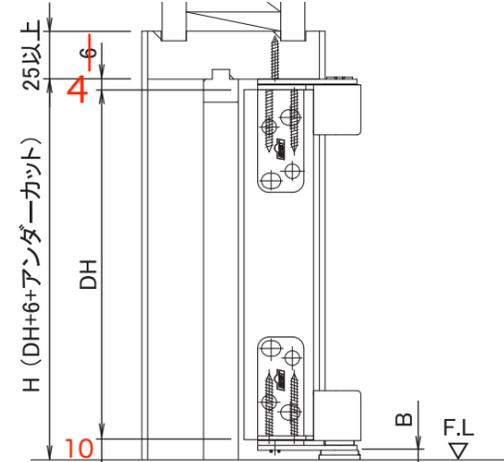
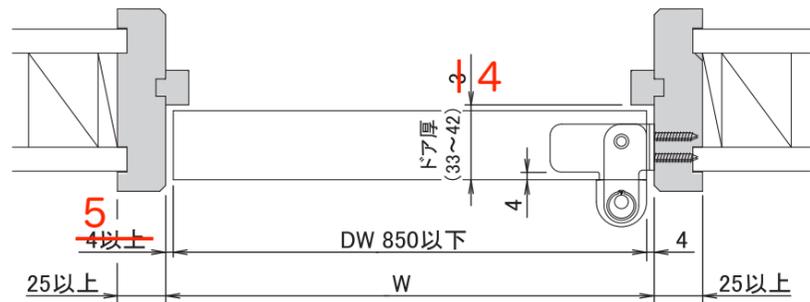


5. 床付け戸当たりのメダルプレートを取付けます。

取り付け方法は別紙「エイト ブラインド戸当たり取付け説明書」をご覧ください。

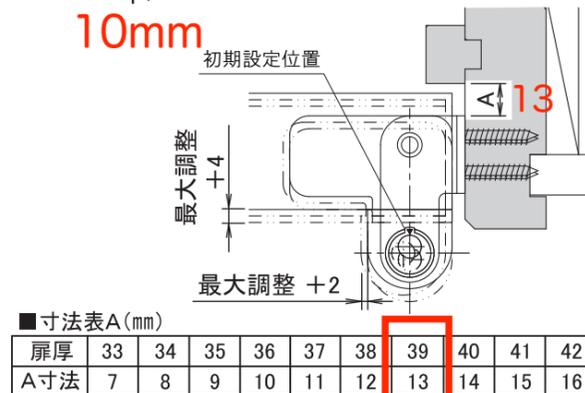
完成です。

納まり図



■寸法表B (mm)

アンダーカット	10.5~15.5mm	16~20.5mm
アジャスター	[A]	[B]
B寸法	5	10



■寸法表A (mm)

扉厚	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
A寸法	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

◆こんなときは…

- ・ドアの戸先側が縦枠に当たる
- ・ドアの戸先側の隙間が大きい
- ・ドアが枠戸当りに当たり、閉じにくい
- ・鍵（ラッチ）が掛かりにくい

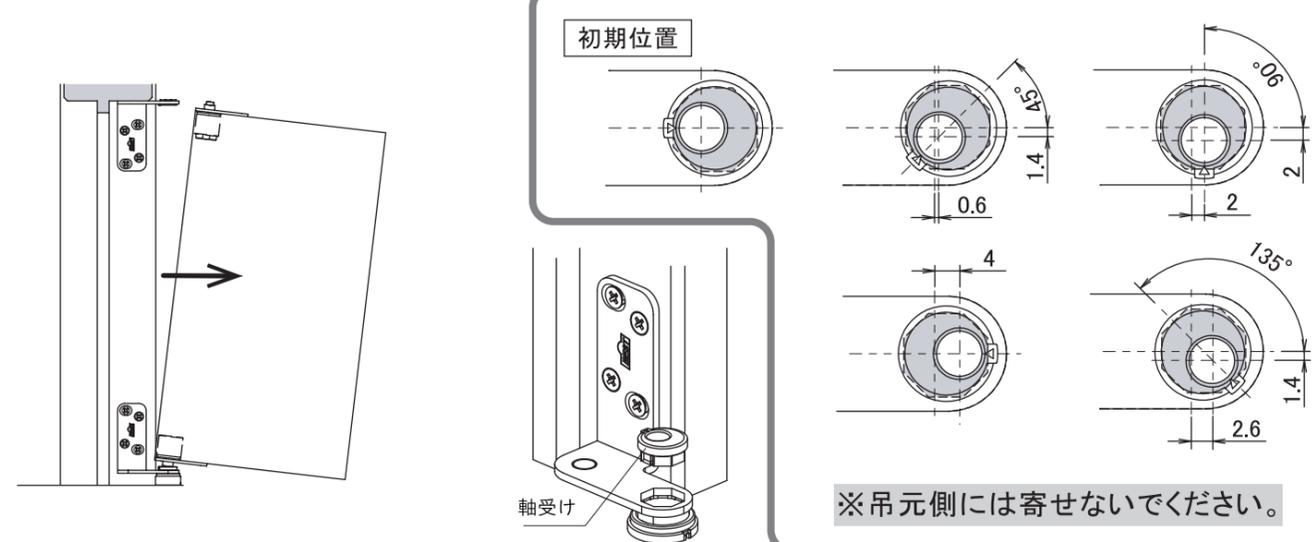


納まり図の寸法と合っているかを確認し、左右・前後の調整を行ってください。

裏面の「ドアを外す場合は…」の手順でドアを外してください。

上下枠金物の軸受けを外し、穴位置を変更して嵌めてください。

軸受け設定（※左勝手は逆に置き換えてください）



※吊元側には寄せないでください。

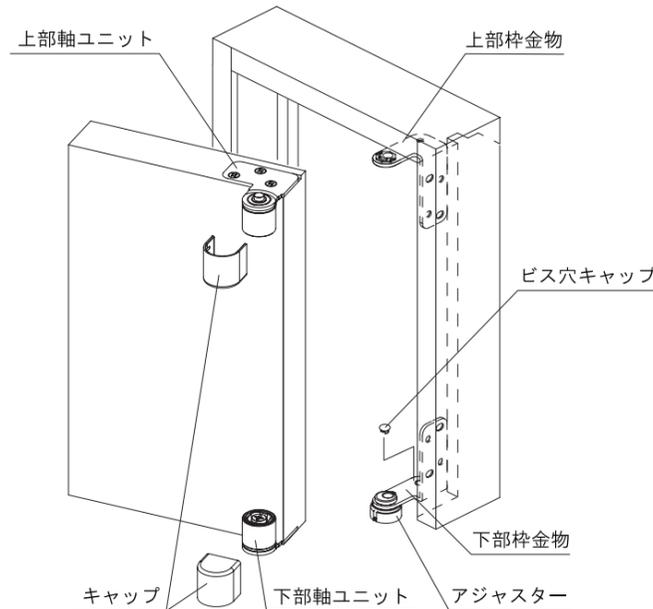
**BEST** No.190BD **ピンポイントヒンジ（床支持タイプ）**

取 付 説 明 書

この度は、本品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用（取付）に際しましては、本書をよくお読みの上、正しくご使用（取付）くださいますようお願いいたします。  
誤った使用（取付）をされますと、思わぬけがをする恐れがありますので本書説明、注意事項をお守りくださいますようお願いいたします。

部品構成 ※本取付説明書は右勝手時の説明です。左勝手の場合は左右置き換えてください。

①上部枠金物 ×1	②上部軸ユニット ×1	③キャップ ×2	④枠金物取付ねじ ×9 ⊕皿タッピンねじ 4×25(D=7)	⑤軸ユニット取付ねじ ×6 ⊕皿タッピンねじ 4×35(D=7)	
⑥下部枠金物 ×1	⑦下部軸ユニット ×1	⑧ビス穴キャップ ×1	⑨アジャスター ×1 アジャスター [A]	×1 アジャスター [B]	▽別途推奨工具 No.190SP スパナ



仕様範囲 ※中央重心ドア条件

- ・ドア高寸法 2200mm 以下
- ・ドア幅寸法 850mm 以下
- ・ドア厚寸法 33 ~ 42mm
- ・ドア重量 35Kg 以下
- ・枠見付 25mm 以上
- ・アンダーカット 10.5 ~ 20.5mm (アジャスター使用)  
※10.5 ~ 13mm  
16 ~ 18mm の場合、扉下部を彫り込む

- ▲ 取付け時の注意事項
- ・仕様範囲内である事を確認してください。
  - ・本製品は、一般住宅・マンションなどの住宅専用であり、使用頻度の多い公共施設や室外では使用しないでください。
  - ・ドアクローザーとの併用はできません。
  - ・本製品は床面でドア荷重を受ける為、下部の枠金物が取付く部分の床面は、硬く変形しない平らな面である事を確認してください。

- ▲ 金物の保守・点検
- ・金物の表面に汚れが付かないよう、定期的に掃除してください。基本的には、柔らかい乾いた布で軽く乾拭きしてください。
  - ・汚れが落ちにくい場合は、布に少量の中性洗剤を浸し汚れを落とし、その後、水に浸した布で洗剤を除去した後、乾いた布で軽く拭いてください。この場合中性洗剤以外の洗剤や薬品は使用しないでください。
  - ・取付ねじに緩みが生じた場合は、ねじの締付けを行ってください。緩んだまま使用していると破損の原因にもなります。

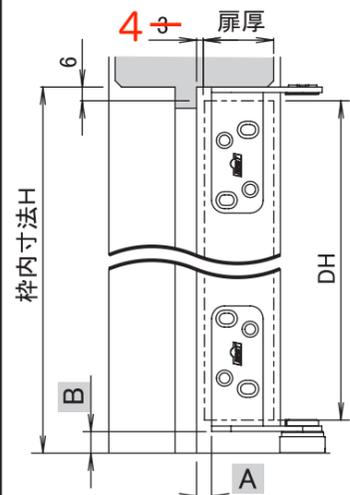
- ▲ 安全上のご注意
- ・製品は必ず本取付説明書の示す用途以外の使用はしないでください。故障やケガの原因になりますのでご注意ください。
  - ・部品の隙間に奥深く指や手を入れたりしないでください。思わぬケガをすることがあります。
  - ・お客様のお取り扱いの不注意、または不適切な取付けのため生じた不具合・故障の場合、責任を負いかねます。
  - ・本取付説明書は、施工またはご使用前に必ずお読みください。
  - ・取付部の強度を確認して取付けてください。

※本説明書は必ず施工主様へお渡し下さい。  
製品改良の為、予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。  
BEST 株式会社ベスト  
東京都千代田区神田紺屋町41  
URL: http://www.best-x.co.jp

### 施工ガイド

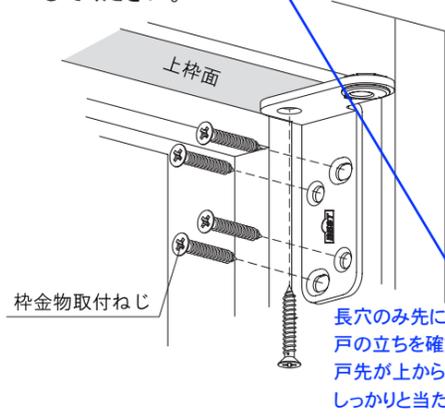
#### 1. 枠金物の取付け

下図の寸法に合わせ、枠金物を取付けてください。



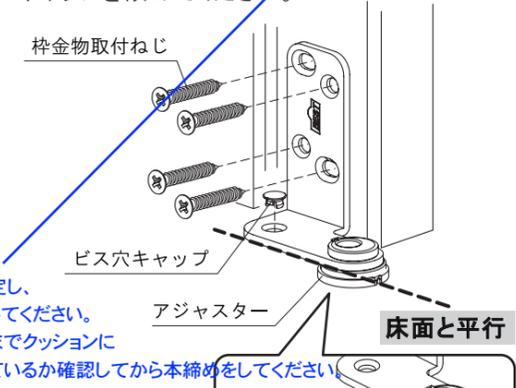
上部

枠金物の上面と上枠面を当て、長穴（2箇所）で仮止めしてください。位置出し後に5箇所を本締めしてください。



下部

アジャスターを取付け、床面に接地させてください。枠金物の下面と床面が平行になる様に長穴（2箇所）を仮止めしてください。位置出し後に4箇所を本締めし、ビス穴キャップを嵌めてください。



■寸法表A(mm)

扉厚	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
A寸法	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

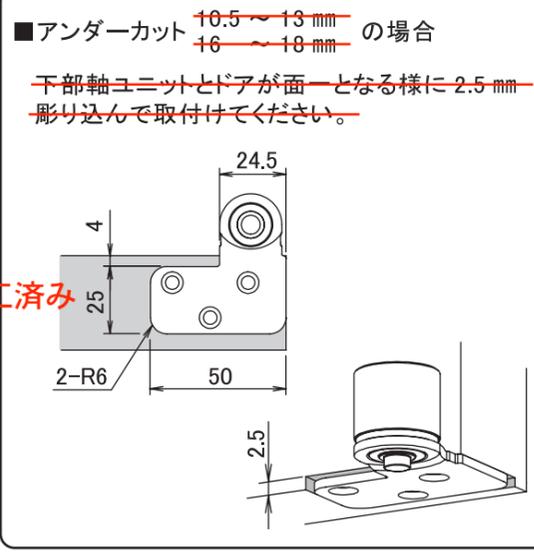
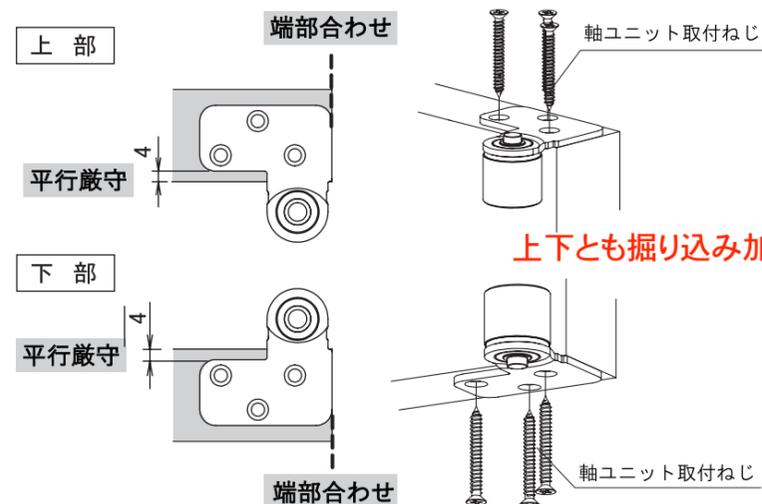
■寸法表B(mm)

アンダーカット	10.5~15.5mm	16~20.5mm
アジャスター	[A]	[B]
B寸法	5	10

アジャスターは穴を枠金物に嵌めて使用してください。

#### 2. 軸ユニットの取付け

軸ユニットを下図寸法に合わせ、ドアに取付けてください。

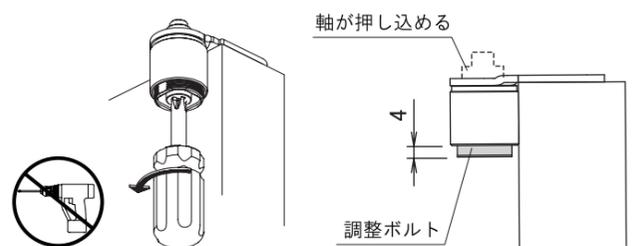


上下とも掘り込み加工済み

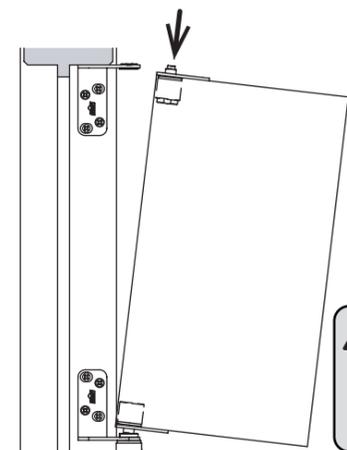
#### 3. ドアの取付け

上部軸ユニットの軸が完全に押し込めるように調整ボルトを4mm程度突出するまで緩める方向に回してください。

※緩めすぎると部品が外れる恐れがあります。



下部軸を下部枠金物穴に入れ、上部の軸を押し込みながら上部枠金物穴に軸を入れてください。



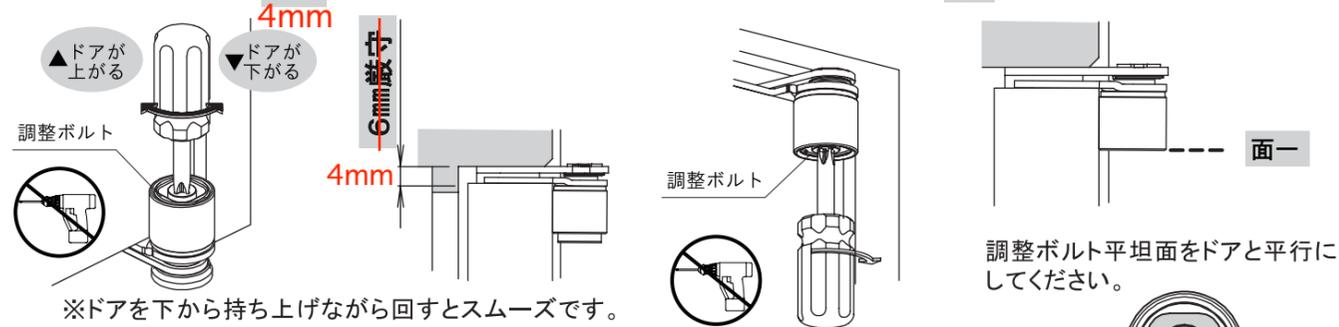
**注意事項**  
電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。部品が破損する恐れがあります。

**注意事項**  
軸を枠金物穴に確実に嵌めてください。ドアが脱落する恐れがあります。

#### 4. ドアの固定

①下部軸ユニットの調整ボルトを回し、ドアと上枠の隙間を6mmにしてください。

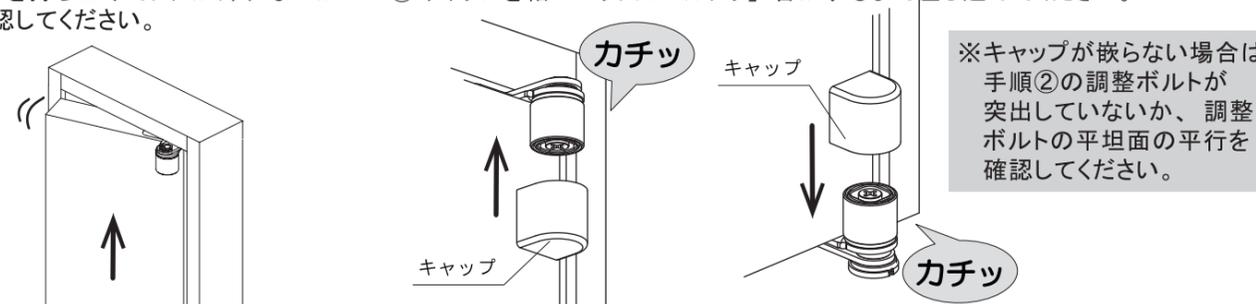
②上部軸ユニットの調整ボルトを締め込み、4mm突出させた調整ボルトを面一になるまで戻してください。



**注意事項**  
電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。部品が破損したり変形し、適切に作動しない恐れがあります。

③ドアを持ち上げてドアが外れないか確認してください。

④キャップを軸ユニットに「カチッ」音がするまで差し込んでください。



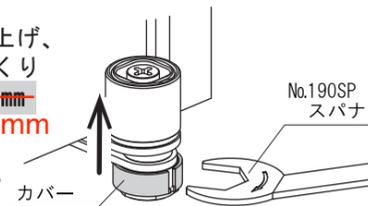
**注意事項**  
キャップは正確に嵌めてください。調整ボルトが緩み、ドアが脱落する恐れがあります。

? 上枠とドア上部の隙間が6mm以上になってしまう場合...

床でしっかり荷重を受けておらず、ドアが垂れ下がっている可能性があります。

アジャスター外側のカバーを上へ上げ、下部六角部分を専用スパナでゆっくり回して上枠とドア上部の隙間が6mmになるように調整してください。4mm

調整後はカバーを下げてください。



**注意事項**  
調整すると内部のねじが見えます。下記寸法以上出ないようにしてください。部品が破損する恐れがあります。

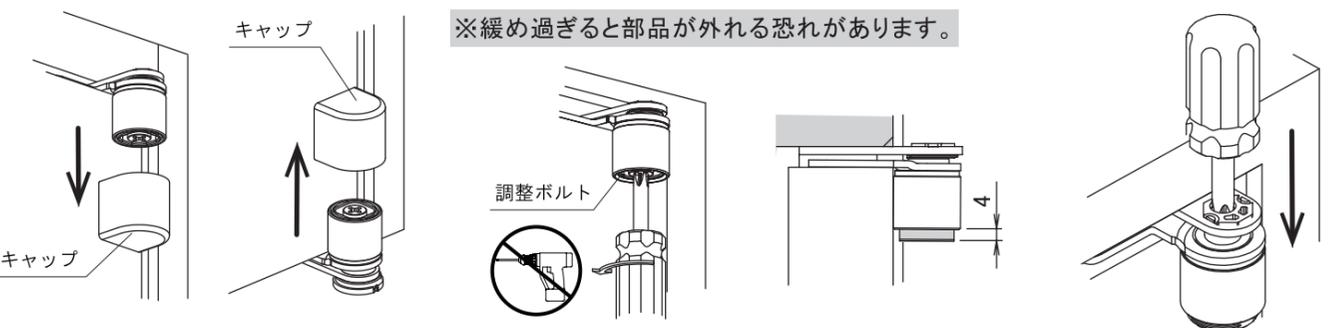


#### ■ドアを外す場合は...

上下のキャップを垂直方向に引き抜き、外してください。

上部軸ユニットの調整ボルトを4mm程度突出するまで緩める方向に回してください。

軸受け穴の上から軸を押し込んでドアを外してください。



**注意事項**  
電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。部品が破損する恐れがあります。

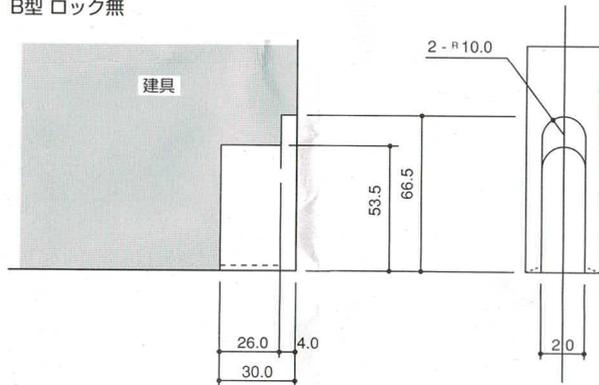
**注意事項**  
周囲の安全を確認した上で行ってください。再度取付ける場合は手順に従い、正しく取付けてください。

# 1-4 エイトブラインド戸当り取付け説明書

- 戸当りが**ロック**の場合、建具に図①の切りカギ加工をして下さい。  
戸当りが**ロック**の場合、建具に図②の切りカギ加工をして下さい。

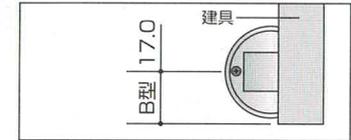
## 切りカギ加工済み

図② B型 ロック無

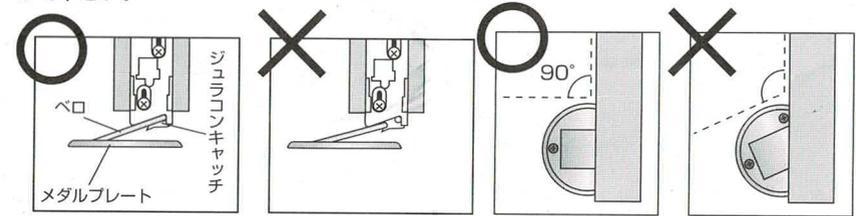


- ブラインド戸当り本体をセットして建具の調整を終わらせて下さい。

- 建具を止めたい位置まで開き、メダルプレートの位置決めをします。

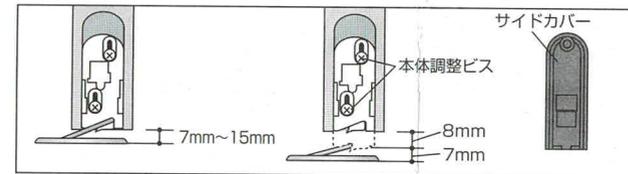


- メダルプレートのペロが本体ジュラコンキャッチに奥まで、直角にセットされているか確認して下さい。



位置決めが終わりましたらメダルプレートを床にビス止めて下さい。  
(この時メダルプレートの向きが変わらない様注意して下さい。)

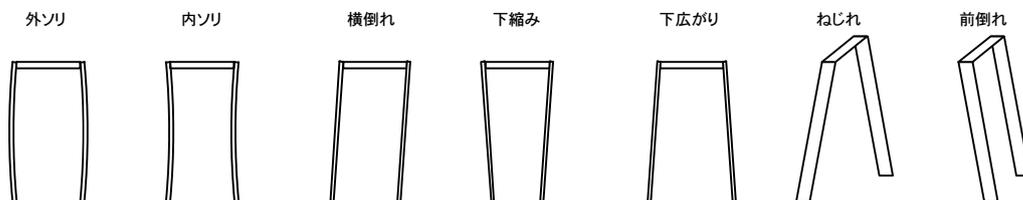
- 建具と床の隙間寸法は7mmが最適ですが、ユニットドア等で床との隙間が7mm以上有る場合は、本体調整ビスで本体を床との隙間が7mmに成る様にして下さい。諸調整が終了したらサイドカバーを本体の溝に差込、上へスライドさせて下さい。(本体のアジャスト寸法は8mm可能なので床と建具の隙間が最大15mm・最小7mm迄使用出来ます。)



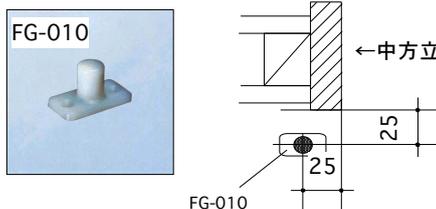
取付け・調整には出来るだけ電動工具は使わないで下さい。  
もしご使用の場合、最後の締め付けは手動でお願い致します。  
取付けに不具合が有りますと機能が完全に動きませんのでご注意下さい。

# 片引き戸枠セット 取り付け説明書

1. 枠を以下の7つに気をつけて取付けます。



2. 床付けガイドFG010を床に取付けます。→



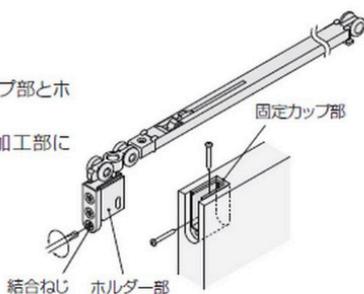
3. 以下の施工ガイドに従って戸を取付けます。

## 施工ガイド

### ■金具の取付け方法

#### 1. 上部吊り車の取付け

- ① 結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ② 固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



#### 2. レールの穴あけ

レールの穴開け加工済みです。

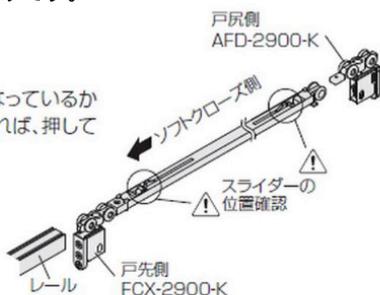
#### 3. レールの取付け

- ① スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し戻しておきます。

#### ■ご注意

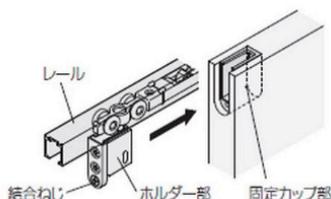
ソフトクローズを正しく作動させるために、必ず確認してください。

- ② レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- ③ 上枠にレールを取付けてください。



### ■戸の吊込み

- ① 下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
- ② 固定カップ部にホルダー部を差込み、結合ねじを締めて固定してください。



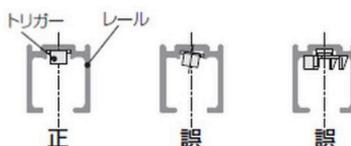
#### 4. トリガーの取付け

戸先用・戸尻用に、下記①～③を繰り返します。

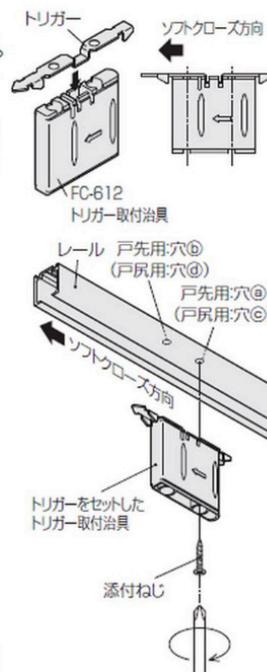
- ① トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
- ② 「2.レールの穴あけ」であけた[戸先用の場合:穴②]・[戸尻用の場合:穴③]に、右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。

#### ■ご注意

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。
- ③ 完全に固定されたら、取付け治具を下に引き抜き、残りの[戸先用の場合:穴②]、[戸尻用の場合:穴③]をねじ止めしてください。

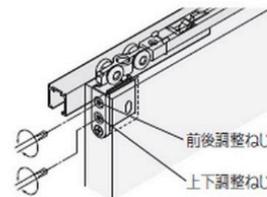


### ■戸の位置調整

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の前後調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。

※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。

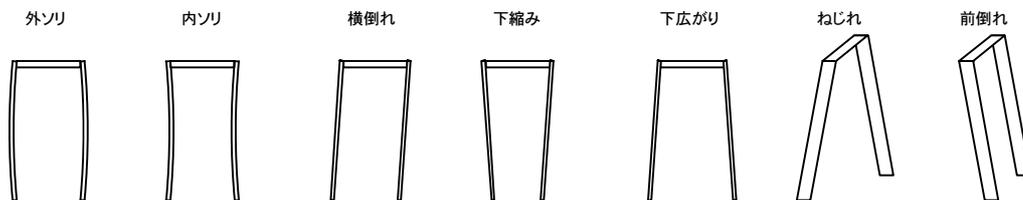
※ソフトクローズの速度調整はできません。



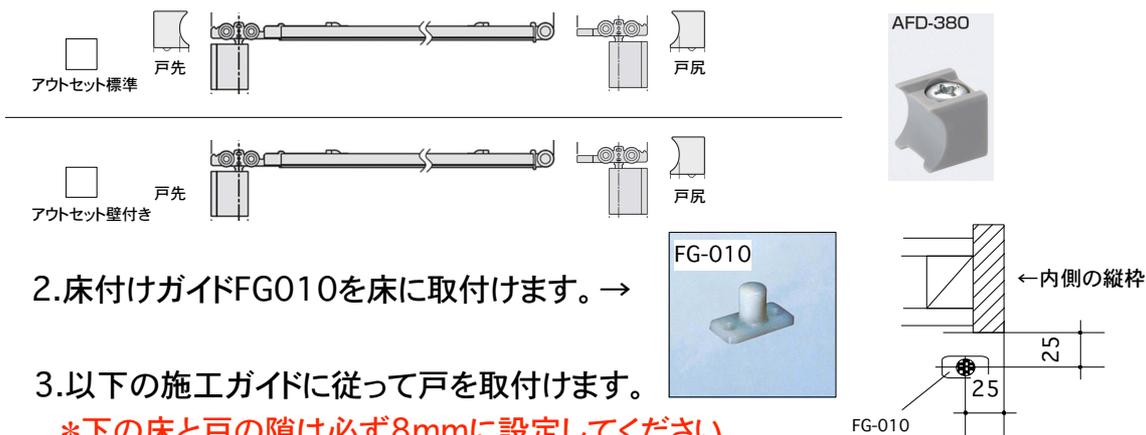
4. 完成です。

# アウトセット片引き戸 枠セット 取り付け説明書

1. 枠を以下の7つに気をつけて取付けます。



☆戸車とストッパーAFD380の順番 [アウトセットの場合]



2. 床付けガイドFG010を床に取付けます。→

3. 以下の施工ガイドに従って戸を取付けます。

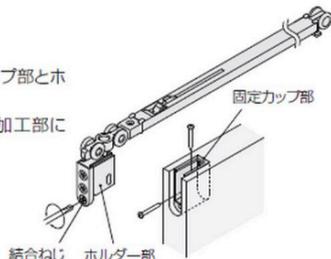
**\*下の床と戸の間は必ず8mmに設定してください。**

## 施工ガイド

### ■金具の取付け方法

#### 1. 上部吊り車の取付け

- ① 結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ② 固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



#### 2. レールの穴あけ

レールの穴開け加工済みです。

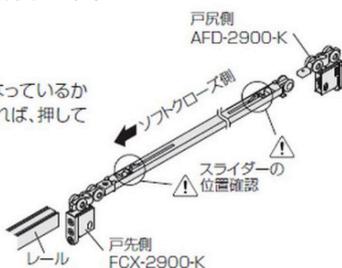
#### 3. レールの取付け

- ① スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し戻しておきます。

#### ■ご注意

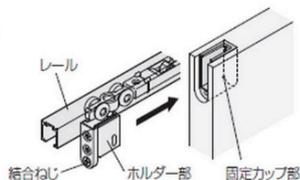
ソフトクローズを正しく作動させるために、必ず確認してください。

- ② レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- ③ 戸車を入れた後、戸先・戸尻の両先端にストッパーAFD380を挿入します。
- ④ 上枠にレールを取付けてください。



### ■戸の吊込み

- ① 下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
- ② 固定カップ部にホルダー部を差込み、結合ねじを締めて固定してください。



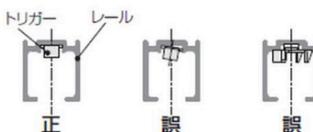
#### 4. トリガーの取付け

戸先用・戸尻用に、下記①～③を繰り返します。

- ① トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
- ② 「2.レールの穴あけ」であけた[戸先用の場合:穴①]・[戸尻用の場合:穴②]に、右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。

#### ■ご注意

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーを溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。



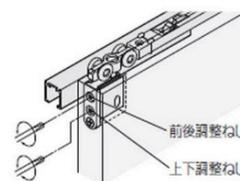
- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
  - トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。
- ③ 完全に固定されたら、取付け治具を下に引き抜き、残りの[戸先用の場合:穴①]、[戸尻用の場合:穴②]をねじ止めしてください。



### ■戸の位置調整

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の前後調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。

※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。  
※ソフトクローズの速度調整はできません。

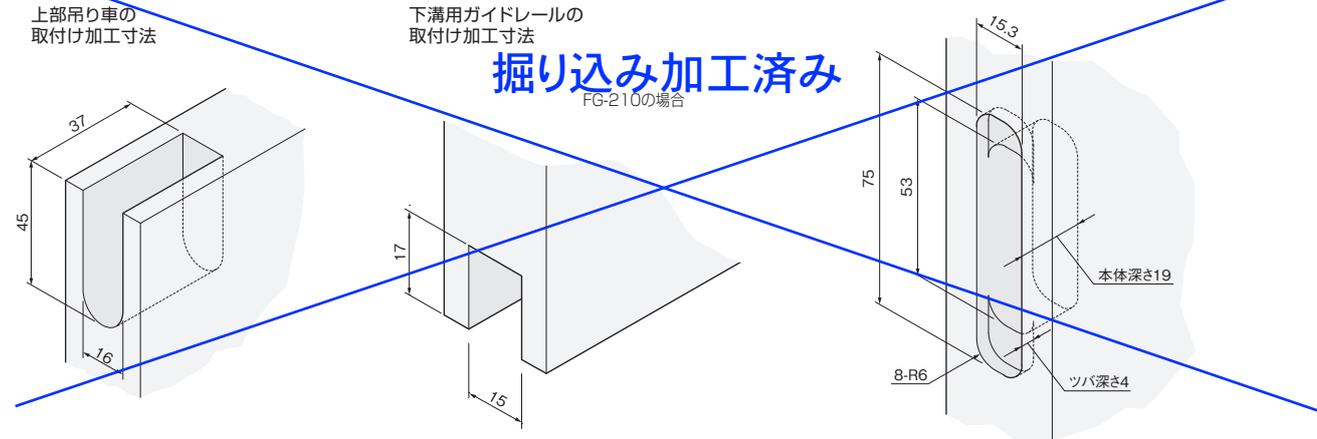


5. 完成です。

**\*下の床と戸の間は必ず8mmに設定してください。**

### 設計ガイド

#### ■戸の加工寸法参考図

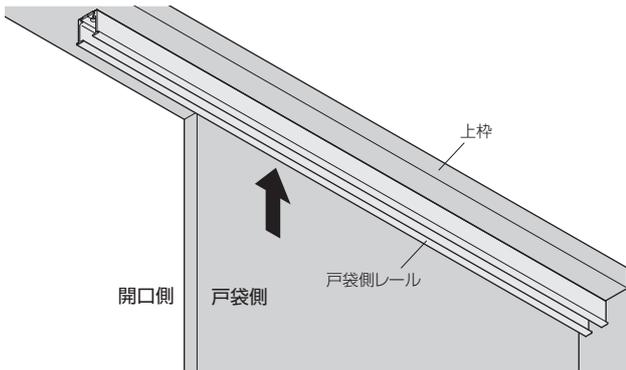


### 施工ガイド

#### ■金具の取付け方法

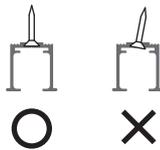
##### 1. 戸袋側レールの取付け

① 上枠に戸袋側レールを取付けます。

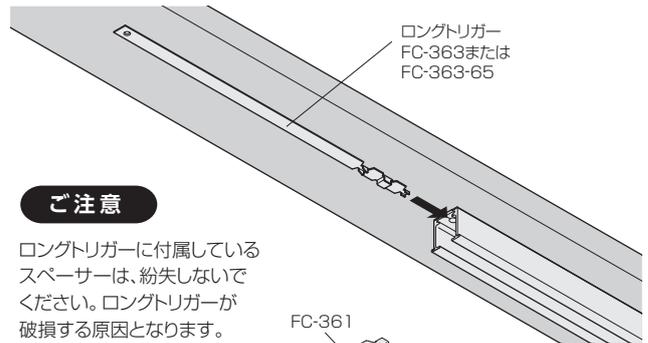


#### ご注意

レールを取付ける際は、ねじの頭が出ないようにしてください。ロングトリガーが通過できなくなります。

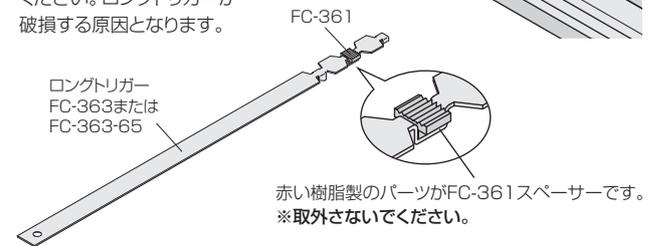


② ロングトリガーをレール上面の溝に挿入します。

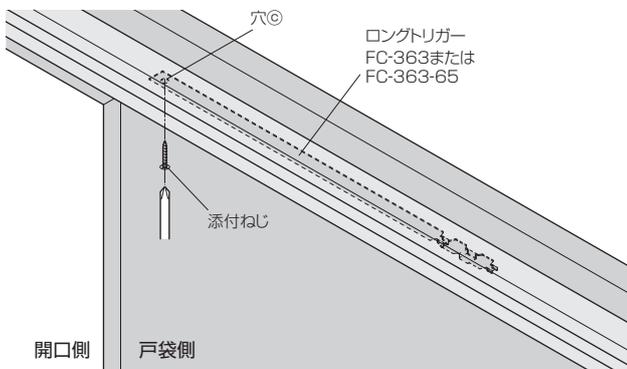


#### ご注意

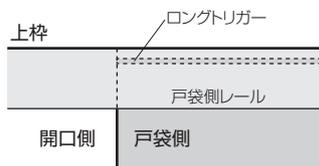
ロングトリガーに付属しているスペーサーは、紛失しないでください。ロングトリガーが破損する原因となります。



③ 「1.レールの切断と穴あけ」であけた穴◎に、ロングトリガーを添付ねじで固定します。



**禁止** ロングトリガーは、戸袋の外側に取付けないでください。戸尻側のトリガー位置が変わり、戸が閉まる設定位置より手前で止まってしまう。



- ドア錠 1
- 丁番 2
- スライド丁番 3
- 開き戸金具 4
- 引戸錠 5
- 引戸金具 6
- 上吊式引戸金具 7
- 移動間仕切金具 8
- 折戸金具 9
- 室内用アルミ選具 10
- 取手・引手 11
- スライドレールワイヤーバスケット 12
- 収納・吊金具 13
- その他の家具金物 14
- 物干金具・諸金具 15
- 真鍮アンティーク 16
- 設計施工ガイド
- 会社案内

ドア錠

1

丁番

2

スライド

丁番

3

開き戸

金具

4

引戸錠

5

引戸

金具

6

上吊式

引戸金具

7

移動

間仕切

金具

8

折戸

金具

9

室内用

アルミ

建具

10

取手・

引手

11

スライド

レール

ワイヤー

バスケット

12

収納・

吊金具

13

その他

家具

金物

14

物干金具・

諸金具

15

真鍮

アンティーク

16

設計

施工

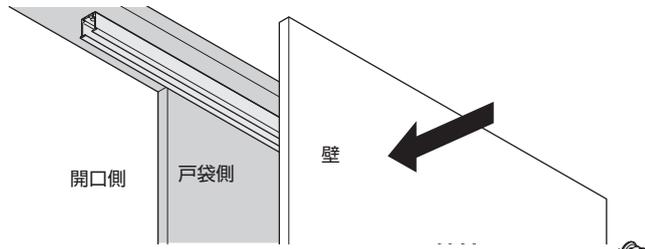
ガイド

会社案内

### 施工ガイド

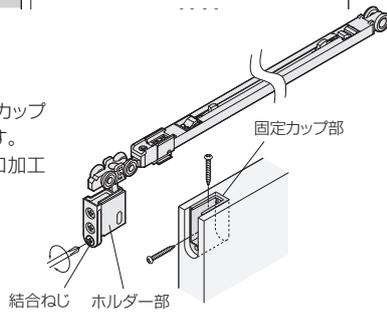
#### 2. 戸袋壁の造作

- ① 戸先の引き残しが0mmの場合は、先に下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。
- ② レール内に残った切り粉や木くずを取除き、壁を造作してください。



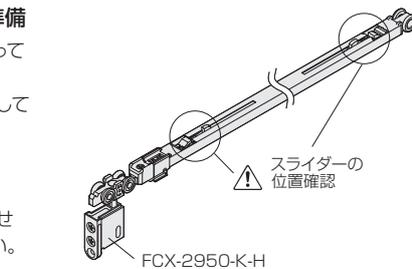
#### 3. 上部吊り車の取付け

- ① 結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部を分離します。
- ② 固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



#### 4. 開口側レールの取付け準備

- ① スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し戻しておきます。

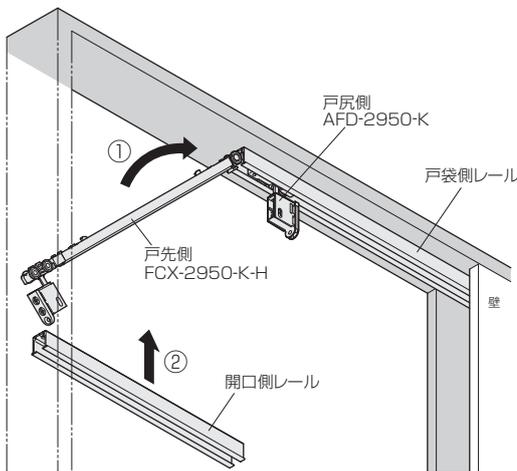


#### ご注意

ソフトクローズを正しく動作させるために、必ず確認してください。

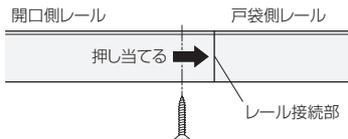
#### 5. 開口側レールの取付け

- ① 図の方向で上部吊り車を戸袋側レールに挿入します。
- ② 開口側レールを取付けます。



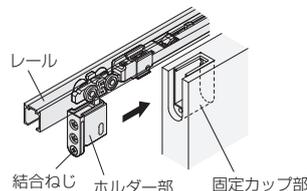
#### ご注意

接続部に隙間や段差ができないようにしてください。戸袋側レールに開口側レールを押し当てながらねじ止めをすると、隙間ができにくくなります。



#### ■ 戸の吊込み

- ① 下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
- ② 固定カップ部にホルダー部を差込み、結合ねじを締めて固定してください。

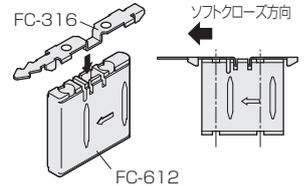


#### 6. 開口側トリガーの取付け

#### ご注意

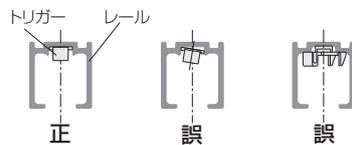
ソフトクローズと同梱されているトリガーは、使用できません。「TB-360-HまたはTB-360-65-H」に同梱のFC-316を使用してください。

- ① FC-316をFC-612にセットします。
- ② 治具を図に示す方向で開口側レール内部に押し込み、レールの穴⑥に添付ねじでトリガーを固定します。



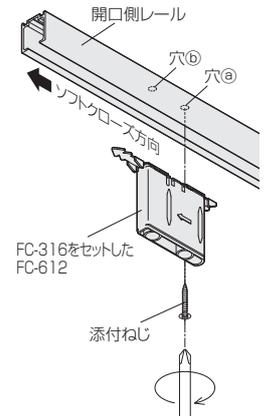
#### ご注意

※ 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。  
※ トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



※ 必ず手回しドライバーで締め付けてください。  
※ トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

- ③ 完全に固定されたら、取付治具を下に引き抜き、残りの穴⑥をねじ止めしてください。

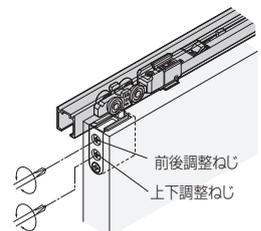


#### 7. 下部ガイドの取付け (戸先の引き残しが65mmの場合)

- ① 下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

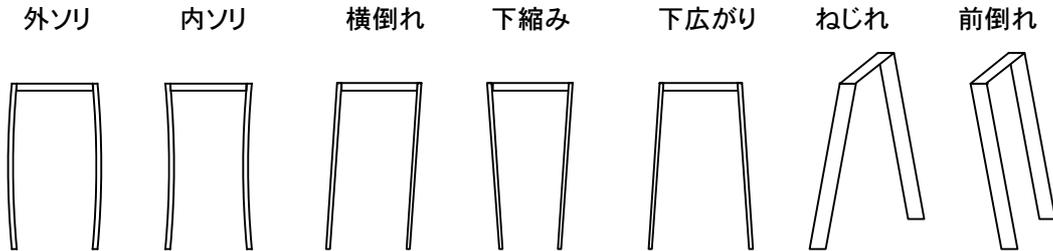
#### ■ 戸の位置調整

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の前後調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。  
※ 調整時に戸を持ち上げると、調整がしやすい場合があります。  
※ ソフトクローズの速度調整はできません。



# 折れ戸枠セット 取り付け説明書

1. 枠を以下の7つに気をつけて取付けます。

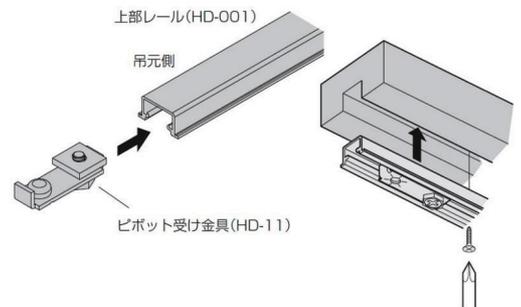
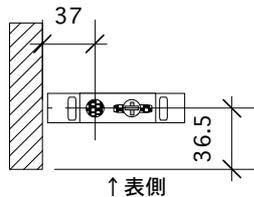


2. レール内にHD-11を入れ、レールを枠に固定します→

### 2.レールの取付け

- ①上部レールを取付ける前に、ピボット受け金具(HD-11)を上部レール内に挿入しておきます(ゴムストッパーHD-12を使用する場合は、それも先に挿入しておきます)。
- ②レールを取付けてください。

3. 床に下部ピボット受けHD15-NLを固定します。

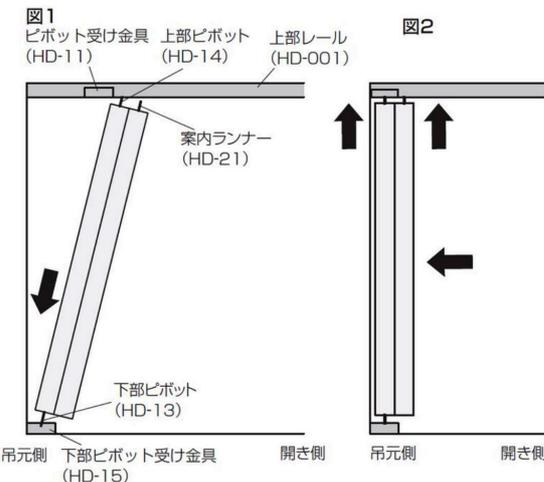


4. 戸を吊り込み、調整します。

**\*必ず下の床と戸の隙は15mmに設定してください。**

### ■戸の吊り込み

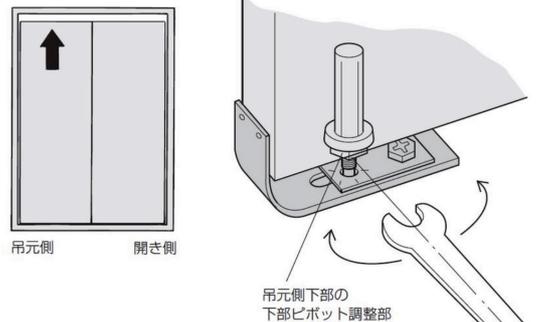
- ①ピボット受け金具(HD-11)は上部レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具(HD-15)よりも開き側の方へずらしておきます。
- ②戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け金具(HD-15)に入れます(図1)。
- ③図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上部レール内のピボット受け金具(HD-11)に、次に上の案内ランナーを上部レールに入れます。
- ④吊元位置を定位置まで移動させ、吊元側の上下のピボット受け金具をスパナでしっかりと固定してください



### ■戸の位置調整

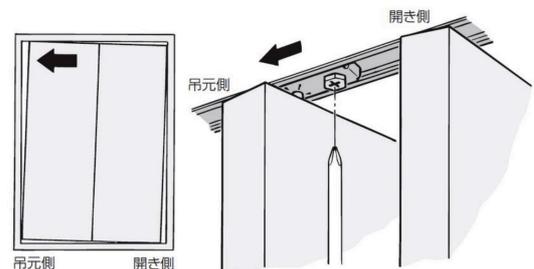
戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合  
→下部ピボットで、上下調整をしてください

- ①戸を閉めた状態で、下部ピボットの調整部をスパナ(HD-61)で回すと、戸が上下します。
- ※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合  
→ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部ピボット受け金具(HD-11)を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具(HD-15)のプレート部を開き側に寄せて調整します。



完成です。